

神戸交通労働組合80周年記念祝賀会

現場が支えた80年、そして次の時代へ



発行元

神戸交通労働組合

〒653-0004

神戸市長田区四番町2-1-2

神戸交通労働組合会館

TEL 078-575-6712

FAX 078-575-3848

編集発行人

佐藤 秀樹

毎月15日発行

定価1部10円

組合員の購読料は組合費に含む



神戸交通労働組合は、2026年1月14日の19時より、ザ・マールカスクエア神戸にて、再建80周年を記念する祝賀会を開催しました。

冒頭では、ピアノとサククスによる演奏が披露され、神戸の復興の記憶を重ねた音楽が会場を包み込みました。

多くの来賓と組合員が集う中、80年の歩みを振り返るとともに、次の10年、20年へ向けた思いを共有する場となりました。



主催者を代表し80周年の歩みを語る奥執行委員長

神戸交通労働組合は、1月14日、再建80周年を記念する祝賀会を開催しました。

当日は、組合員をはじめ、神戸市関係、諸団体関係、各級議員、友誼団体関係など、多くの来賓にご出席いただき、80年の節目を祝う場となりました。

祝賀会の冒頭では、ピアノ（金丸 誠志様）とサククス（澤井 誠様）による演奏が披露され、ジャズの名曲「All of Me」と、阪神・淡路大震災後に生まれた「しあわせ運べるように」が演奏されました。神戸の復興と重なる音楽が会場を包み、再建80周年にふさわしい落ち着いた雰囲気の中で祝賀会が開始されました。

主催者挨拶では、1945年10月16日の再建から80年にわたる歩みを振り返り、労働条件の改善や公共交通を守る取り組み、震災の

対応など、現場の仲間が支えてきた歴史が語られました。また、80周年は通過点であり、次の10年、20年に向けて、公共交通としての使命を果たし続けていく決意が示されました。

来賓挨拶では、神戸交通が市民の足として果たしてきた役割への評価とともに、厳しい経営環境の中にあっても、安全・安心な運行を支える現場の努力への敬意が表されました。あわせて、安心して働ける職場づくりが、安全とサービスの基盤であるとの認識が共有されました。

主催者挨拶(要旨) 神戸交通労働組合 奥執行委員長

神戸交通労働組合再建80周年にあたり、日頃から組合活動を支えていただいている組合員をはじめ、ご臨席賜っております覚悟代表の来賓の皆様へ、心より感謝申し上げます。

1945年10月16日、戦後間もない混乱の中で兵庫県下でいち早く再建を果たして以降、神戸交通は市民の足として歩みを止めることなく今日まで続いてまいりました。その道のりは決して平坦なものではありませんでした。

80年の歴史の中で、特に忘れてはならない出来事として、1963年に発生した「若林事件」があります。この出来事を契機に、組合員が一丸となって身体検査制度の撤廃に取り組み、職場環境の改善を勝ち取ってきました。この歴史は、組合の原点として語り継が



祝賀会に花を添える澤井様(左)と金丸様

れるべきものです。

また、1995年の阪神・淡路大震災では、被災直後の混乱の中にあっても、市民の足を一日でも早く取り戻すため、地下鉄・市バスの早期再開に全組合員が力を合わせて取り組みました。この経験は、神戸交通の誇りであり、今後も胸を張って伝えていくべき歴史です。

これまでも、再建計画や経営計画が行われてきましたが、先人の方々は、神戸交通を存続させるため、知恵を絞り、汗をかき、時には血を流しながらも、ここまで繋いでこられました。特に、市民・利用者にも少しでも理解・応援してもらえようと、「B・F・R・E」「イルミネーションバス」「福祉体験授業」など、ボランティアで数多くの取り組みを実施



和やかに歓談している組合員

し、それを交通局の取り組みに変えてきたことを知っておいていただきたい。

本日から新しい1年がスタートしますが、全組合員で次の10年を作っていくために、私自身がその先頭に立って取り組みを進めていきますので、組合員の皆さまには、引き続きのご理解・ご協力をお願いするとともに、本日ご臨席賜りましたご来賓の皆さまにおかれましても、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

来賓挨拶 (要旨)
神戸市 久元市長

再建80周年に対する祝意が述べられ、1945年の再建、震災直後の公共交通の早期再開など、神戸の復興と

ともに歩んできた神戸交通の歴史に深い敬意が示されました。厳しい経営環境の中にあっても、市民の足を守るため、行政としても公共交通の維持・発展に取り組んでいく決意が述べられました。

都市公共交通評議会 佐田議長

80年の歴史は先人たちが困難に立ち向かい、道を切り開いてきた結果であると述べられました。人手不足が深刻化する中で、使命感だけに頼らず、次世代がこの仕事を志せる処遇改善や職場づくりが必要であると述べられました。

自治労兵庫県本部 小原副委員長

戦後の混乱期から80年間、地域住民の生活を支える公共交通を担い続けてきたことへの敬意が述べられ、今後は、65歳まで安心して働き続けられる職場づくりを進め、90年、100年と神戸交通が市民に信頼される存在であり続けてほしいとの期待が述べられました。

神戸市交通局 城南交通事業管理者

再建80周年への祝意とともに、日頃から安全・安心運行に尽力している現場職員・組合員への感謝が述べられました。公共交通を取り巻く環境が厳しさを増す中、「いつも(移動)に感動を」という企業理念の実現には、「従業員満足度の向上が前提であるとの認識が示されました。一人ひとりの職員が安心して働ける職場であってこそ、安全運行や質の高いサービスが市民に届くとして、職場環境改善に継続して取り組む姿勢が述べられました。

再建80年の歩みと組合の役割

神戸交通再建80周年は、単なる年数の節目ではありません。それは、戦後の混乱期から今日に至るまで、公共交通を守り続けてきた現場の歴史であり、組合活動の積み重ねそのものです。神戸交通は、戦後復興、震災、度重なる経営危機や合理化の波など、幾度となく厳しい局面に直面してきました。その中で組合は、労働条件を守ることにとどまらず、安全運行と公共性の確保という視点から、現場の声を行政・経営に届け続けてきました。「再建」とは、単に経営数字を整えることではありません。働く者の誇りと、市民からの信頼を守り、再構築していく不断の取り組みであります。

社会とともに歩む公共交通

組合は、神戸交通を市民により身近な存在として感じていただくため、地域や福祉施設との連携、イベントへの参画など、さまざまな社会的取り組みを進めてきました。

これらはすべて、現場の仲間たちが主体となって積み重ねてきた活動です。神戸交通が「人によって支えられている公共交通」であることを示しています。

次の世代へつなぐ80周年

現在の職場環境や制度は、先人たちが声を上げ、守り、築いてきた結果です。若い組合員一人ひとりが、次の歴史を担う存在であり、80周年はその出発点でもあります。

組合はこれからも、現場を大切にしながら、公共交通の未来を支えていきます。

組合員資格を取得及び喪失を確認された方々について、神戸交通労働組合同規約施行規則第10条(加入)、並びに第11条(脱退)に基づき公示します。
(敬称略)

脱退
高速乗務支部 森本 恭行

組合員資格の公示



神戸交通労働組合80周年記念式典 出席者一覧

来賓および神戸交通労働組合の役員など (敬称略)

《ご来賓》

| | |
|-----------------|---------|
| 神戸市長 | 久元 喜造 |
| 神戸市交通事業管理者 | 城南 雅一 |
| 都市公共交通評議会議長 | 佐田 悟 |
| 東京交通労働組合執行委員長 | 見城 史浩 |
| 横浜交通労働組合執行委員長 | 梅谷 英昭 |
| 名古屋交通労働組合書記長 | 曾根 寛泰 |
| 大阪交通労働組合執行委員長 | 吉田 彰 |
| 伊丹交通労働組合執行委員長 | 當野 博照 |
| 自治労兵庫県本部書記長 | 北池 宏光 |
| 神戸市職員労働組合執行委員長 | 北川 学 |
| 神戸市従業員労働組合執行委員長 | 小原 王之 |
| 神戸市教職員組合 | 柴田 健太郎 |
| 神戸市水道労働組合 | 久常 順治 |
| 神戸市立高等学校教職員組合 | 橘 和雄 |
| 連合神戸地協議長 | 加藤 明 |
| 兵庫県交運労協議長 | 河合 和俊 |
| 兵庫県交運労協事務局長 | 小幡 修司 |
| 兵庫県会議員 | 黒田 一美 |
| 神戸市会議員 | 伊藤 めぐみ |
| 神戸市会議員 | 諫山 大介 |
| 神戸市会議員 | やの こうじ |
| 神戸市会議員 | 木戸 さだかず |
| 垂水区市政担当 | 中村 力 |
| 神戸市交通局退職者協議会会長 | 高見 福二 |
| 元執行委員長 | 北山 善仁 |
| 前執行委員長 | 五百旗頭 英裕 |

| | |
|-----------|-------|
| 支部青年女性委員長 | 川瀧 裕哉 |
| 支部委員 | 水谷 聖 |

＜高速乗務支部＞

| | |
|-----------|-------|
| 支部長 | 西垣 伸哉 |
| 中央委員 | 林田 吉博 |
| 中央委員 | 角野 貴章 |
| 中央委員 | 橋本 築 |
| 中央委員 | 里岡 誠一 |
| 中央委員 | 谷 汰志 |
| 支部青年女性委員長 | 馬場園 歩 |
| 支部委員 | 亀田 正行 |
| 支部委員 | 渡辺 健二 |
| 支部委員 | 相田 正志 |
| 支部委員 | 崎原 勇児 |
| 支部委員 | 西川 弘憲 |
| 支部委員 | 中村 和裕 |
| 支部委員 | 末永 元気 |
| 支部委員 | 山田 優介 |
| 支部委員 | 下山 裕樹 |

＜高速駅務支部＞

| | |
|-----------|-------|
| 支部長 | 清水 龍太 |
| 中央委員 | 安原 克徳 |
| 中央委員 | 山崎 功貴 |
| 支部委員 | 枝重 浩太 |
| 支部青年女性委員長 | 金澤 望美 |

＜高速技術支部＞

| | |
|-----------|-------|
| 支部長 | 寺田 剛士 |
| 中央委員 | 松岡 裕 |
| 中央委員 | 田中 貴大 |
| 中央委員 | 松本 嵐士 |
| 支部委員 | 斎藤 達也 |
| 支部委員 | 高山 鉄平 |
| 支部委員 | 林 翔太 |
| 支部委員 | 市川 泰成 |
| 支部青年女性委員長 | 富田 知樹 |

＜本局支部＞

| | |
|------|-------|
| 支部長 | 山本 裕二 |
| 中央委員 | 平野 雅浩 |

＜本部＞

| | |
|----|-------|
| 書記 | 富永 雄大 |
|----|-------|

＜演奏者＞

| | |
|-----|-------|
| ピアノ | 金丸 精志 |
| サクソ | 澤井 誠 |

【三役及び常任執行委員】

| | |
|--------|-------|
| 執行委員長 | 奥 博之 |
| 副執行委員長 | 坂倉 正和 |
| 書記長 | 藤野 雄大 |
| 自動車部長 | 佐藤 秀樹 |
| 高速鉄道部長 | 平尾 岳洋 |

＜石屋川自動車支部＞

| | |
|------|-------|
| 支部長 | 熊本 哲也 |
| 中央委員 | 田中 健一 |
| 中央委員 | 藤野 司 |
| 支部委員 | 堀毛 翔太 |
| 支部委員 | 岡本 泰志 |

＜中央自動車支部＞

| | |
|--------|--------|
| 支部長 | 花田 健次 |
| 中央委員 | 筑後 達也 |
| 中央委員 | 高石 大輔 |
| 中央委員 | 白石 寿仁亜 |
| 支部委員 | 徳田 祐基 |
| 垂水支所担当 | 西脇 博司 |

＜車両支部＞

| | |
|------|-------|
| 支部長 | 水口 朝文 |
| 中央委員 | 福原 直斗 |